業務仕様書

1. 件名

五條市 AD サーバ構成機器設置業務委託

2. 目的

五條市役所内の LGWAN 系ネットワークに接続する約 500 台の端末アカウントを管理する Active Directory サーバについて、既存機器の老朽化に伴う更新に必要なサーバ構成機器及び関連製品を購入し、指定する場所へ設置する。

なお、本業務は機器の調達とラッキング、電源接続および配線の導通確認が対象であり、**Active Directory の設計、構築、設定及び既存環境からの移行作業は、本調達の対象外**とし、別途発注する予定である。

3. 調達の基本条件

1. 本調達は、機器、OS、付属品及び保守サービスの購入を対象とする。
2. 納入者は、指定場所への搬入、開梱、ラック搭載及び物理的な接続までを行うこと。
3. OS、Active Directory、DNS、バックアップ等の設計、構築及び設定は行わないこと。
4. 調達機器は、別途発注する構築・移行業務において利用可能な状態で納入すること。
5. 全て新品とし、中古品、再生品及び展示品は認めない。
6. 納入時点でメーカーの製造及びサポートが終了していない現行製品とする。
7. 本仕様書に示す性能及び機能を満たす同等品以上の製品を認める。
8. 機器間の接続性及び相互運用性を確保すること。
9. 本仕様書に明記されていない場合でも、機器の設置及び利用に必要な部材は納入者の負担で用意すること。

4. 調達範囲

本調達の範囲は、次のとおりとする。

1. 物理サーバ　1 台
2. サーバ OS 及び必要なライセンス
3. Windows Server CAL×500 式
4. UPS
5. ラックコンソール（モニター、キーボード、マウス）
6. ラック搭載部材
7. 電源ケーブル及び LAN ケーブル
8. ハードウェア管理に必要なソフトウェア及びライセンス
9. 法人向けデスクトップ型 NAS（ネットワーク対応 HDD）

10. メーカー保守サービス
11. 指定場所への搬入、開梱及びラック搭載
12. 機器の物理接続
13. 初期不良確認
14. 納入図書

4.1 本調達に含まないもの

次の作業は、本調達の対象外とする。

- Active Directory の基本設計及び詳細設計
- Windows Server OS のインストール及び設定
- Active Directory Domain Services の構築
- DNS サーバの構築及び設定
- 既存 Active Directory からのデータ移行
- FSMO ロールの移行
- ユーザー、グループ、OU 及び GPO の移行
- IP アドレス、サーバ名及びドメイン名の設定
- バックアップソフトウェアの設定
- 監視ソフトウェアの設定
- ウイルス対策ソフトウェアの設定
- UPS 管理ソフトウェアの設定
- 既存サーバの撤去、廃棄及びデータ消去
- 動作試験、移行試験及び業務システムとの連携試験
- 電源工事、コンセントの設置

ただし、納入機器の正常性を確認するために必要なメーカー標準のハードウェア診断は、本調達に含むものとする。

5. システム構成

5.1 基本構成

Active Directory 用サーバとして、**物理サーバ 1 台の正 AD サーバと既設仮想化基盤環境で構築している副 AD サーバの構成**を前提とする。2 つの環境は同等の仕様とし、いずれか 1 台の故障時にも、別途実施する構築作業により残り 1 台で Active Directory サービスを継続できる構成とする。

※副 AD サーバーの仕様は既設仮想化基盤の設定に依存し、本調達の対象外とする

5.2 想定用途

各サーバは、次の用途に使用する予定である。

- Windows Server の実行
- Active Directory Domain Services
- AD 統合 DNS
- グローバルカタログ
- グループポリシー管理
- 約 500 台の端末アカウントの認証
- Active Directory レプリケーション

ファイルサーバ、データベースサーバ及び業務アプリケーションサーバとしての利用は想定しない。

6. 物理サーバ仕様

以下の要件は、サーバ 1 台当たりの最低仕様とする。

6.1 基本仕様

項目	最低仕様
数量	1 台
筐体	19 インチラック搭載型、2U 以下を推奨
製品区分	国内で法人向けに販売されるサーバ専用機
CPU	Intel Xeon E-2300/2400 系、Xeon 6300 系、Xeon Silver 系又は同等以上
CPU 数	1 基
物理コア数	1CPU あたり 4 コア以上
CPU クロック	2.5GHz 以上を目安とし、同等以上の処理性能を有すること
メモリ	16GB 以上
メモリ増設	64GB 以上に増設可能であること
メモリ保護	ECC 対応
ストレージ	SAS HDD
RAID	RAID1＋ホットスペア以上

項目	最低仕様
実効容量	600GB 以上
ディスク本数	同容量 2 本以上
ディスク交換	ホットプラグ対応
RAID コントローラー	ハードウェア RAID 又は同等の信頼性を有するもの
キャッシュ保護	フラッシュバックアップ又はバッテリーバックアップ対応を推奨
ネットワーク	1GbE 以上、4 ポート以上
電源	ホットプラグ対応冗長電源
電源効率	80 PLUS Platinum 相当以上を推奨
光学ドライブ	不要。外付け又は仮想メディア機能で代替可
TPM	TPM 2.0 以上
ファームウェア	UEFI 対応
Secure Boot	対応
リモート管理	OS 非依存のリモート管理機能
ラックレール	対応レールを付属すること
前面パネル	誤操作防止又は施錠可能なベゼルを推奨
保守	5 年間の保守又は交換サービスを付帯すること

6.2 CPU の同等性

特定メーカー又は特定型番に限定しない。ただし、提案する CPU は次の条件を満たすこと。

1. サーバ向け CPU であること。
2. 64 ビット命令に対応すること。

3. 仮想化支援機能に対応すること。
4. Windows Server の採用バージョンに対応すること。
5. 4 物理コア以上であること。
6. メーカーが提示するベンチマーク又は仕様資料により、要件を満たすことを証明できること。

6.3 メモリ

1. サーバ 1 台当たり 32GB 以上を搭載すること。
2. ECC 対応メモリとすること。
3. メモリチャネル及びメーカー推奨構成を考慮して搭載すること。
4. 将来 64GB 以上へ増設できる空きスロット又は交換手段を確保すること。
5. 構成上可能な場合は、メモリ障害時の影響を低減できる構成とすること。

6.4 ストレージ

1. 24 時間 365 日のサーバ利用を想定した SAS-HDD とすること。
2. 民生用 SSD は認めない。
3. RAID1＋ホットスペアの構成とし、2 台のディスク故障時にも稼働を継続できること。
4. RAID1 構成後の実効容量は 600GB 以上とすること。
5. ホットプラグ交換に対応すること。
6. RAID の状態及びディスク障害を確認できること。
7. 障害予兆を監視できること。
8. OS からディスク及び RAID の状態を確認するために必要なメーカー標準ソフトウェアを使用できること。
9. 予防交換を含む保守サービスに対応できること。

6.5 ネットワーク

1. 1GbE 以上の RJ-45 ポートを 4 ポート以上備えること。
2. OS から使用する通信用ポートと、リモート管理専用ポートを分離できること。
3. NIC の冗長化又はチーミングに対応できること。
4. Windows Server の採用バージョンに対応したドライバが提供されること。
5. 必要な LAN ケーブルを付属すること。
6. 10GbE を提案する場合は、接続先スイッチとの互換性及び必要なトランシーバー等を明示すること。

6.6 電源

1. 冗長電源を搭載すること。
2. 電源装置はホットプラグ交換に対応すること。
3. 各電源装置を別々の UPS 又は電源系統へ接続できること。
4. 日本国内の電源環境に適合すること。
5. 接続に必要な電源ケーブルを全て付属すること。

6.7 リモート管理機能

次の機能を有すること。

- OS が停止している状態での電源投入及び再起動
- ハードウェア状態の確認
- CPU、メモリ、ディスク、RAID、電源及びファンの状態確認
- 障害ログ及びイベントログの確認
- リモートコンソール
- ISO イメージ等の仮想メディア接続
- ファームウェア情報の確認

上記機能の利用に追加ライセンスが必要な場合は、本調達に含めること。

7. サーバ OS 及びライセンス

7.1 サーバ OS

項目	要件
製品	Windows Server Standard
バージョン	2022 または 2025
言語	日本語
アーキテクチャ	64 ビット
数量	物理サーバ 1 台で利用するために必要な数量
ライセンス方式	搭載する全物理コアを適正にカバーすること
メディア	インストールメディア又は正規の入手方法を提供すること
証明	ライセンス証書、購入証明及びプロダクトキー等を納品すること

7.2 OS バージョンの条件

1. 調達時点で新しい LTSC 版が利用可能な場合は、発注者と協議の上で製品を確定すること。
2. OEM、ROK 又はボリュームライセンス等のライセンス形態を明示すること。
3. 採用するサーバハードウェアが当該 OS の認定又はメーカーサポート対象であること。
4. 閉域ネットワークでのライセンス認証方法を説明できること。
5. 副 AD サーバー（既設仮想化基盤上の VM）に必要な Windows Server ライセンスは本調達の対象外とし、既設環境において別途手当て済みとする。

7.3 Windows Server CAL

1. 上記 Windows Server へアクセスするために必要な CAL を調達すること。（500 アカウント分）
2. 不要な RDS CAL は含めないこと。

8. UPS 仕様

8.1 基本要件

項目	要件
数量	1 台
形状	19 インチラック搭載型
方式	ラインインタラクティブ方式以上
容量	各 UPS 1,500VA 以上を目安とし、実負荷に基づき選定すること
出力	サーバ及び必要な関連機器を接続できる数を備えること
通信	USB 又はネットワーク管理に対応
自動停止	Windows Server の正常な自動シャットダウンに対応
バッテリー	ユーザー交換又は保守員による交換が可能
ラックレール	付属すること
保守	5 年間の保守又は交換サービスを付帯すること

8.2 容量選定

1. 納入者は、提案サーバの最大消費電力及び通常消費電力を確認し、UPS 容量計算書を提出すること。
2. 通常想定負荷に対し、20%以上の余裕を確保すること。
3. 停電時にサーバを正常に停止できる時間を確保すること。
4. バッテリー劣化を考慮した容量とすること。
5. UPS 管理ソフトウェアを使用するために必要なライセンスを含めること。
6. UPS 管理ソフトウェアのインストール及び設定は、本調達の対象外とする。

9. NAS 仕様

本 NAS は、AD サーバのシステム状態バックアップデータの保存先として使用する。

項目	要件
数量	1 台
総容量	4TB（2TB ハードディスク × 2 台搭載）
RAID 機能	RAID 1 に対応（ソフトウェア RAID による構成）
実効容量	約 2TB（RAID 1 運用時）
CPU	64 ビット対応のデュアルコア以上のプロセッサを搭載し、動作周波数は基本クロック 1.5GHz 以上であること
メモリー	8GB DDR4 ECC メモリー搭載
ホットスワップ	対応（電源を切らずに HDD の交換が可能）
電源・消費電力	AC100V 50/60Hz、最大消費電力 85W 以下
AN ポート	・10GBASE-T × 1 ポート（標準搭載） ・1000BASE-T × 2 ポート（標準搭載）
対応プロトコル	TCP/IP、SMB/CIFS、AFP、FTP、SFTP、NTP 等
USB ポート	USB 3.2 (Gen 1) × 2 ポート（背面：外付け HDD 接続・UPS 連携等に対応）

項目	要件
外形寸法・質量	W170×H170×D230mm（突起部除く）、約 5kg
設置方式	デスクトップ型のため、ラックへの直接搭載は行わない。ラック内に設置する場合は、別途ラックシェルフ（棚板）を用意し、転倒防止及び通気を確保して設置すること。ラックシェルフは本調達に含めること。
保守	5 年間の保守又は交換サービスを付帯すること。なお、NAS の保守方式はセンドバック方式を許容する。

10. ラック及び設置条件

1. 納入先に設置済みの 19 インチラックへ搭載可能であること。
2. 納入者は、契約後又は発注者が指定する時期に設置場所を確認すること。
3. ラックの奥行き、取付穴、電源形状、空きユニット数及び耐荷重を確認すること。
4. サーバ及び UPS の搭載に必要なレール、金具及びケージナットを含めること。
5. 搭載後の保守交換が可能な配置とすること。
6. サーバ前面及び背面の通気を妨げないこと。
7. ケーブルの保守性を確保すること。
8. 電源・コンセントは既設のものを利用すること。
9. 発注者が指定する既設スイッチと納入機器を接続すること。（同一ラック内を想定）
10. 既存ラックへ搭載できないことが判明した場合は、速やかに発注者へ報告すること。
11. 新規ラックは、別途明示しない限り本調達に含めない。

11. 付属品

次の付属品を調達に含めること。

品目	数量・条件
サーバ用ラックレール	サーバ 1 式
UPS 用ラックレール	UPS1 式
電源ケーブル	全電源装置及び UPS の接続に必要な数量
LAN ケーブル	各サーバ 2 本以上、カテゴリ 5e 以上

品目	数量・条件
リモート管理用 LAN ケーブル	各サーバ 1 本以上、カテゴリ 5e 以上
ケーブル識別ラベル	必要数
ベゼル	メーカー対応品がある場合
インストールメディア	OS 及び必要ソフトウェア
ドライバ・ファームウェア	正規の提供媒体又は入手方法
取扱説明書	電子媒体可
保証書	一式

付属品がサーバ又は UPS 本体に標準添付される場合も、数量を構成明細書へ記載すること。

12. ハードウェア保守

12.1 保守期間

検収日の翌日から **5 年間**とする。

12.2 サーバ保守

1. メーカー又はメーカー認定保守事業者によるオンサイト保守とする。
2. 平日 9 時から 17 時までの受付を最低条件とする。
3. 障害受付の翌営業日までに訪問対応を開始することを基本とする。
4. CPU、メモリ、ディスク、RAID コントローラー、NIC、電源、ファン及びマザーボード等を保守対象とすること。
5. 交換部品代、技術料及び訪問費用を保守費用に含めること。
6. 障害切り分けに必要なメーカーサポートを含めること。
7. ファームウェア及びドライバの提供を受けられること。
8. 故障した HDD 及び SSD を発注者から持ち出さない「故障媒体返却不要サービス」を付帯すること。
9. リモート管理機能のライセンス保守を含めること。
10. 保守期間及びサービスレベルを証明する書類を提出すること。

12.3 UPS 保守

1. UPS 本体を 5 年間保守対象とすること。

2. 保守期間内に必要となるバッテリー交換の扱いを明示すること。
3. バッテリー交換を保守に含めない場合は、交換用バッテリー及び作業費を別項目として明示すること。
4. UPS の障害時に交換又は修理対応が可能であること。
5. UPS 管理ソフトウェアのサポートを受けられること。

12.4 NAS 保守

1. NAS 本体を検収日の翌日から 5 年間保守対象とすること。
2. 保守方式はセンドバック方式を許容する。
3. 故障時の修理・交換対応が可能であること。
4. 保守期間及びサービス内容を証明する書類を提出すること。

12.5 保守窓口

1. サーバ、UPS 及び NAS の問い合わせ先を明示すること。
2. 問い合わせ方法、受付時間及び必要な機器識別番号を一覧化すること。
3. 製品ごとに保守会社が異なる場合は、それぞれの窓口を明示すること。

13. 納入条件

13.1 納入場所

五條市が指定する庁舎内サーバ室

13.2 納入期限

令和 9 年 1 月 29 日（金）

13.3 搬入及び設置

納入者は次を行うこと。

1. 搬入経路及び設置場所の確認
2. 機器の搬入及び開梱
3. 既存ラックへの搭載
4. サーバ、UPS 及び電源の物理的な接続
5. LAN ケーブルの配線
6. ケーブルへの識別表示
7. 梱包材等の回収及び処分
8. 搭載状態及び電源投入の確認
9. ハードウェア診断の実施

13.4 OS の取扱い

OS については、メーカー標準状態で OS をプリインストールして納入することとし、初回設定、ネットワーク設定、更新プログラム適用及び Active Directory 構築は行わない。（別

途構築業務で実施。）

ただし、メーカー保守上の理由等により、メーカー工場出荷時インストール方式が適切な場合、入札前に発注者と協議し、承認を受けること。

14.責任分界

1. 納入者は、本仕様書に定める機器、ソフトウェアライセンス、付属品及び保守サービスを納入し、機器が別途実施する構築業務に使用可能な正常な状態であることについて責任を負う。
2. 納入者の作業範囲は、搬入、ラック搭載、部品実装、RAID 設定、メーカー推奨ファームウェアの適用、物理配線、ハードウェア診断、保守登録及び納入図書の提出までとする。
3. Windows Server のインストール、パーティション設定、OS 上のドライバ導入、ネットワーク設定、セキュリティ設定、Active Directory 及び DNS の構築並びに既存環境からの移行は、本調達に含まない。
4. 納入者は、納入機器が発注者の指定する Windows Server 及び別途導入予定のソフトウェアをサポートすることを確認し、メーカー資料等により証明すること。
5. 納入後に発生した不具合について、ハードウェア、ファームウェア、ドライバ又は OS 等のいずれに原因があるか直ちに判断できない場合、納入者は発注者及び構築事業者による原因切り分けに協力しなければならない。
6. 原因切り分けへの協力には、診断ログの確認、メーカーへの照会、診断プログラムの実行支援、交換部品の手配及び技術情報の提供を含むものとする。
7. 調査の結果、納入機器又は納入者が実施した設定に原因がある場合は、納入者の責任と費用により修理、交換又は是正を行う。
8. 構築事業者が行った OS、ドライバ又は各種設定に原因がある場合は、別途構築業務の範囲で対応する。ただし、納入者は必要な技術情報の提供に協力する。
9. 原因が複数の領域にまたがる場合、又は原因を特定できない場合は、発注者、納入者及び構築事業者で協議し、対応方法を決定する。
10. 納入者は、構築事業者から合理的な技術照会を受けた場合、保守及び契約範囲内で回答すること。
11. その他、納入者及び構築事業者の作業内容・責任項目は別紙 1 のとおりとする。

15. 納入時の確認

納入者は、次の項目を確認すること。

1. 納入数量
2. 製品名及び型番
3. シリアル番号

4. CPU 及びコア数
5. メモリ搭載容量
6. HDD の本数及び容量
7. RAID コントローラーの認識
8. NIC の数
9. 冗長電源の認識
10. リモート管理機能への接続
11. UPS の起動及び自己診断
12. 外観上の破損の有無
13. ラックへの固定状態
14. 保守サービスの登録状態
15. OS 及びライセンスの数量

OS 上の設定、AD 機能及び業務システムとの接続試験は、納入時確認の対象外とする。

16. 納入図書

納入者は、次の資料を紙又は電子媒体で提出すること。

1. 納品書
2. 機器構成明細書
3. CPU、メモリ、HDD、RAID、NIC 及び電源の構成表
4. ライセンス証書及び購入証明
5. Windows Server CAL 一覧
6. 保守サービス証書
7. 保守窓口一覧
8. メーカー保証書
9. UPS 容量計算書
10. ラック搭載図
11. 物理結線図
12. ハードウェア診断結果
13. 使用したケーブル及び付属品一覧
14. 製品カタログ
15. 取扱説明書又はその入手方法
16. ドライバ及びファームウェアの入手方法

パスワード、プロダクトキー等の秘密情報は、一般の納入図書と分離し、発注者の指定する方法で引き渡すこと。

17. 同等品の取扱い

1. 本仕様書は特定のメーカー及び製品を指定するものではない。
2. 最低仕様と同等以上の製品を提案できる。
3. 提案する機器の構成については、発注者が指定する期限までに適合規格確認票を提出すること。
4. 適合規格確認票には、次を添付すること。
    - 本仕様書との比較表
    - メーカーの製品仕様書
    - Windows Server への対応を確認できる資料
    - 保守サービスの内容
    - 消費電力及び UPS 容量の算定資料
    - ラックへの搭載可否を示す資料
5. 同等性の証明責任は納入者が負うものとする。

18. 検収条件

次の条件を全て満たした時点で検収とする。

1. 指定した機器及び付属品が全て納入されていること。
2. 機器が指定ラックへ適切に搭載されていること。
3. サーバ及び UPS に電源が入り、メーカー標準診断で異常がないこと。
4. CPU、メモリ、HDD、RAID、NIC 及び電源が仕様どおり認識されていること。
5. リモート管理機能が利用可能であること。
6. 保守サービスの登録が完了していること。
7. OS 及びライセンスが適正に納入されていること。
8. 納入図書が提出されていること。
9. 外観上の損傷及び初期不良がないこと。
10. 検収時に判明した不足又は不具合が是正されていること。

19. 情報セキュリティ

1. 納入者は、庁舎内で知り得た情報を第三者へ漏らしてはならない。
2. 発注者の許可なく既存機器及びネットワークへ接続してはならない。
3. 持込み端末及び外部媒体の使用は、発注者の承認を得ること。
4. 納入者は発注者の入退室管理及びセキュリティルールに従うこと。
5. 搬入及び作業中に既存システムへ影響を与えないこと。
6. 既存 Active Directory の認証情報及び設定情報は、原則として納入者へ提供しない。

20. その他

1. 本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、発注者と協議すること。

2. 契約後に構成を変更する場合は、事前に発注者の承認を得ること。
3. メーカーの製品変更又は販売終了等により提案製品を納入できない場合は、同等以上の代替品について発注者の承認を得ること。
4. 構築事業者から機器仕様に関する照会があった場合、保守範囲内で必要な情報を提供すること。
5. 納入後の構築作業に必要となるドライバ、ファームウェア及び技術資料を提供すること。
6. 受注者の責によらない納期の変更等があった場合、発注者の承認を得ること。

別紙 1　責任分界表

凡例:

- **主**: 作業実施及び結果に責任を負う
- **協**: 情報提供・切り分け等に協力する
- **確認**: 結果を確認・承認する
- **-**: 原則として対象外

No.	作業内容・責任項目	五 條市	納入者	構築事業者
1	機器・部品の選定	確認	主	協
2	OS・CAL のライセンス選定及び納入	確認	主	協
3	構築に必要なドライバの提供可否確認	-	主	協
4	搬入、開梱及びラック搭載	確認	主	-
5	CPU、メモリ、HDD 等の実装	-	主	-
6	電源ケーブル・LAN ケーブルの物理配線	確認	主	協
7	RAID1 の設定	確認	主	協
8	BIOS・UEFI のメーカー標準設定	-	主	-
9	セキュアブート等、構築要件に基づく BIOS 変更	確認	協	主
10	ファームウェアの更新	確認	主	協
11	ハードウェア診断	確認	主	-
12	リモート管理機能のライセンス登録	-	主	-
13	リモート管理用 IP・認証情報の設定	確認	協	主
14	UPS 本体の設置及び電源配線	確認	主	-
15	UPS 本体の自己診断	確認	主	-

No.	作業内容・責任項目	五 條 市	納入者	構築事業者
16	UPS 管理ソフトのインストール・停止設定	確認	協	主
17	Windows Server のインストール	確認	-	主
18	ディスクパーティションの設計・設定	確認	-	主
19	ドライバのインストール	確認	協	主
20	OS 更新プログラムの適用	確認	-	主
21	OS 及び CAL のライセンス認証	確認	協	主
22	サーバ名、IP アドレス等の設定	確認	-	主
23	OS セキュリティ設定	確認	-	主
24	AD DS、DNS 等の構築	確認	-	主
25	既存 AD の調査及び移行	確認	-	主
26	バックアップ・監視設定	確認	協	主
27	ハードウェア保守登録	確認	主	-
28	構築前の初期不良対応	確認	主	-
29	構築後の障害一次切り分け	確認	協	主
30	ハードウェア障害の修理・交換	-	主	協
31	OS、AD 及び設定に起因する障害対応	-	協	主
32	原因不明時の共同切り分け	調整	主・協	主・協
33	最終的な構築・移行の稼働確認	確認	協	主

別紙 2 調達数量表（案）

No.	品名	数量	主な条件
1	ラック型サーバ	1 台	4 コア以上、メモリ 32GB 以上
2	SAS-HDD	2 基以上	RAID1
3	RAID コントローラー	1 式	
4	冗長電源	2 基	
5	1GbE 以上の NIC	4 ポート以上	
6	リモート管理機能	1 式	コンソール・仮想メディア対応
7	Windows Server Standard	一式	搭載全コアをカバー
8	Windows Server CAL	500	
9	ラック型 UPS	1 台	各 1,500VA 以上を目安
10	UPS 管理ライセンス	一式	Windows Server 対応
11	ラックレール	2 式	サーバ・UPS 用
12	電源ケーブル	一式	全接続に必要な数量
13	LAN ケーブル	10 本以上	通信用及び管理用
14	サーバ保守	1 台・5 年	オンサイト、故障媒体返却不要
15	UPS 保守	1 台・5 年	バッテリー条件を明示
16	法人向けデスクトップ型 NAS	1 台	RAID1、実効容量 2TB 以上、ECC 対応
17	NAS 保守	1 台・5 年	センドバック方式可
18	ラックシェルフ（棚板）	1 式	NAS 設置用、19 インチラック対応

No.	品名	数量	主な条件
19	搬入・ラック搭載	一式	物理接続、診断を含む
20	納入図書	一式	構成・ライセンス・保守一覧